

# 情報セキュリティマネジメント構築

情報セキュリティマネジメント人材育成のために

情報セキュリティマネジメントを整備するうえで求められる「構築方法」を学習します。構築基準、情報資産調査、リスクアセスメント概要、管理台帳作成、部門ルール策定などに関し、部門の情報セキュリティマネジメントの観点から学習します。

## 受講対象者

1. 現在部門内の情報セキュリティ管理を担当している方
2. 主体的に作業を行えることを目指す方
3. IPAの「情報セキュリティマネジメント試験」を受験したい方

## 前提知識

1. 研修「情報セキュリティ技術概要」を修了している。
2. または、上記内容と同等以上の知識を有している。

情報セキュリティ技術概要

初級

情報セキュリティマネジメント構築

中級

情報セキュリティマネジメント運用

中級

情報セキュリティマネジメント評価・改善

中級

## 実施概要例

時間	研修項目	概要
10:00-11:00	情報セキュリティマネジメントシステムの構築	位置づけや体制、構築対象とプロセス、規定の導入と記録の考え方
11:10-12:10	情報資産の洗い出し	守るべき情報資産をどの様に洗い出し、分類するのか
12:10-13:10	<昼食>	-
13:10-14:10	リスクアセスメントの実施	洗い出した情報資産に対し、どの様にリスクアセスメントを実施するのか
14:20-16:20	ケーススタディ	自部門の守るべき情報資産に対するリスクを正しく把握し、法規的要請を加味した適切な対策を施しているのか

※ 状況により、内容や時間や順序が変更となる場合がございます。

### ■ ケーススタディに関して

#### 1. 目的

情報資産をどう捉えリスクアセスメントをどうすべきか、法的対応をどのように導入すべきか、規定やルールをどう捉え実装すべきかを修得することです。

#### 2. 内容

自部門の情報資産を洗い出し、リスクアセスメントを行います。また、委託先に関する情報セキュリティ管理や、規定に付随する記録の管理に関する整理・検討します。

## ■ 研修内容とスキル

### ■ 本研修コース修了者の取得スキル項目

研修項目	取得スキル項目	iコンピテンシディクショナリ(注1) 分類
情報セキュリティマネジメントシステム構築	資産管理に関する手法	(支援活動) 資産管理手法
	情報保障と情報セキュリティ	(非機能要件) セキュリティの基礎技術
	セキュリティ方針の作成	(非機能要件) セキュリティの構築技術
	セキュリティ対策基準の策定	
法規導入	契約事務手法	(企画) セールス事務管理手法
	セキュリティ関連法規	法規・基準・標準

(注1) 企業においてITを利活用するビジネスに求められる業務(タスク)と、それを支えるIT人材の能力や素養(スキル)をIPAが「タスクディクショナリ」、「スキルディクショナリ」として体系化したもので、企業は経営戦略などの目的に応じた人材育成に利用することができます。

※ 参考URL : [https://www.ipa.go.jp/jinzai/hrd/i\\_competency\\_dictionary/icd.html](https://www.ipa.go.jp/jinzai/hrd/i_competency_dictionary/icd.html)

### ～ お問い合わせ先 ～

- 担当 : セキュリティビジネス部 セキュリティコンサルティングG
- mail : 弊社ホームページの「お問い合せ」をご利用下さい。
- TEL : 03-3496-1674 (営業担当直通)
- URL : <http://www.cic-kk.co.jp/>
- 住所 : 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂2-16-4 (本社)



【本資料の無断転載・複製・複写を禁じます】